

2019年度 総合研究所特別研究員 研究活動報告

氏名	中西 麻一子
研究テーマ	カナガナハハリ大塔に描かれる仏母マーヤーと義母プラジャーパティーについて
研究概要	カナガナハハリ大塔より出土した種々の仏伝図から仏母マーヤーと義母プラジャーパティーが登場する仏伝図を取り上げ、その図像表現を文献資料に基づいて解明する。

1. 研究活動の概要と研究成果	<p>今年度は、京都真宗文化研究所委嘱研究員の採択を受け、真宗文化研究所の活動に従事した。研究課題は、研究活動スタート支援の研究課題「カナガナハハリ大塔を中心とするインド仏教史的研究」を踏まえて「カナガナハハリ大塔における成道図について」とした。以上の理由により、すでに提出していた佛教大学総合研究所特別研究員としての研究題目をこの課題に変更し、研究を遂行した。</p> <p>具体的には、中インドから南インド地域までの成道図を収集・整理したうえで、カナガナハハリ大塔から出土した成道図に描き込まれる満瓶が、南インドに特有の表現であることを明らかにした。さらに満瓶の表現については、文献資料に説かれる用例に基づいてその意味を考察した。</p> <p>2月に実施したインド現地調査では、カナガナハハリ大塔、アマラーヴァティー大塔、チャンダヴァラム大塔出土の成道図を実見し、研究資料を収集した。次に記した学術論文や研究発表には、インド政府考古局の許可を得て撮影した研究資料（画像データ）を使用している。</p>
2. 学術論文・学会発表等	<p>①「南インドにおける成道図について--満瓶を手がかりとして--」『真宗文化』第29号、京都光華女子大学真宗文化研究所（2020年3月）</p> <p>②「南インドにおける成道図の図像学的特徴」京都光華女子大学真宗文化研究所研究発表例会にて発表、（2019年12月20日）</p>
3. 競争的資金等への応募と採択	<p>① 日本学術振興会科学研究費補助金/学術研究助成基金助成金 研究活動スタート支援：H1805572（2018年4月—2020年3月）</p> <p>② 学術研究助成基金助成金 若手研究：H19K20782（2020年4月—2024年3月）</p> <p>③ 2019年度京都光華女子大学真宗文化研究所委嘱研究員</p>
4. 今後の課題	<p>カナガナハハリ大塔に描かれる仏伝図のうち、カーラ龍王の讚嘆説話が描かれるレリーフを取り上げ、その図像表現を解明したい。カーラ龍王の讚嘆説話は、成道直前の重要な場面として知られるにもかかわらず、管見の限り仏教学、及び美術史学においても特筆すべき先行研究が見られない。そこで、この説話を伝える文献資料と図像資料を収集・整理することから始め、両者の伝承過程上におけるカナガナハハリ大塔から出土した同主題の位置づけを行いたい。</p>